



[第 05 号議案]

令和 06 年(2024 年)度 事業計画

＜ 本 部 (P02～09)＞

＜柏さかさい保育園(P10～12)＞

＜柏中央保育園(P13～15)＞

＜牛久みらい保育園(P16～18)＞

＜柏しんとみ保育園(P19～21)＞

＜柏 ECEC 保育園(P22～24)＞



令和06年度 社会福祉法人 童心会 事業計画

1. 事業運営

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が5類に緩和され行動範囲も緩和されたことから、各園と協同で積極的な通常保育の再構築及び外環境の利用を最大限に活用する。引き続き、少子化や保育士の採用負担の増加、補助金縮小と保育市場は明るくはありません。法人として年々精査し中長期を実行・改善・修正することを推進する。

よって、法人の保育理念である「やさしい保育」の理念意識を低下させないため、継続的に保育所からはじめる地域コミュニティの地域活性化を図り、保育の質を向上させ、中長期計画をもって『選ばれる・選ぶ童心会ブランド』を高める。

(1) 中長期計画の実行

中長期計画 2 年目として専門性と管理の強化し、事業として多機能な事業を促進する。

① 保育専任の設置

保育アドバイザーの設置にともない、新人から中堅職員の育成、そして保育の統一化を強化する。

② 人事改革

- ・ 未来幹部職員育成（未来の主任と園長、児童発達支援管理者）
- ・ 組織内専門育成者の育成
- ・ 保育アドバイザーたちによる内部研修の策定（理事長研修との融合）

③ 組織改革

- ・ 内部 Check 機能の強化（法人相談機能含む）

④ 事業活動

- ・ ブランディング活動（SNS、地元協賛など）
- ・ 他法人との連携や業務提携によるブランディング活動
- ・ 法人特化されたわくわく（音楽リズム含む）活動の広報
- ・ 特化事業（福祉の新事業）や環境事業（グランド等）の推進

(2) 法人マニュアル具現化

継続的に法人マニュアルを補完し研修を通じた共通理解を強化推進する

(3) その他

① 外部環境の活用

② ICT 強化（保育業務の改善と一元化したシステムの開発推進）



2. 事業体制

(1) 保育園事業

柏市	： 柏さかさい保育園	120名	定員(144名 弾力運営あり)
柏市	： 柏中央保育園	90名	定員(107名 弾力運営あり)
牛久市	： 牛久みらい保育園	90名	定員(105名 弾力運営あり)
柏市	： 柏しんとみ保育園	90名	定員(108名 弾力運営あり)
柏市	： 柏 ECEC 保育園	80名	定員(96名 弾力運営あり)
合計:470名(最大 560名)			

(2) 職員体制(R06年4月1日現在の構成となるが、継続的に人員確保)

理事長	：	1名(スーパーバイザー兼務)
園長	：	5名(理事長と業務執行理事、園長兼務)
主任保育士	：	5名
保育士	：	107名(うち派遣保育士10名)
看護師	：	6名
みなし保育士	：	12名(柏市特別配置、障がい職員2名)
栄養士	：	5名
調理員	：	18名
事務員	：	1名(事務専属)
アシスタント	：	2名(うち障がい職員1名)
保育A	：	3名(児童発達支援管理責任者1名含む)
合計	：	<u>165名</u>

(3) 広報活動

「保護者、園児、地域」を中心に、当法人に対する理解及び保育の本質を伝えられるよう、オンラインサービス、SNS、ホームページを最大限に活用し情報を配信する。他、社会充実計画の一貫として地域の方々への行事招待、中高による職場体験を積極的に促進し、一方で実習生の受入＝人材確保の目的も含め活動継続する。

3. 付加価値事業の推進

付加価値を高める事業活動としては児童発達支援事業の開始。

各保育園との共有化及び法人として令和05年度から設置した『保育アドバイザー会』の推進と既存の『わくわくアート』『わくわくタイム』を子どもたちの人間教育及び職員の育成に繋げるものである。



(1) 児童発達支援事業（仮称）柏みらいこども学園 事業計画

1. 事業所所在地

千葉県柏市明原 1-2-10 アソルティ柏クレール 4F

2. 事業の目的・方針

地域の障害や発達につまずきのある児童が通所し、日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適応のための訓練を行うこと〈発達支援〉を事業の目的とします。また、身近な地域における通所支援機能として、日々通所してくる児童はもとより、通所児童以外の地域の障害児やその家族を対象とした支援や保育所をはじめとする障害児を預かる施設への援助や助言をあわせて行う（保育所等訪問支援）を地域の中核的療育支援施設としての役割を果たし〈地域支援〉、必須となる個別支援計画書を作成し、本人、保護者、関係機関と協力共同しながら地域の要望に応じていきます。

3. 利用定員

利用定員 10名

4. 職員体制

職種	定数	現員
管理者	1名	1名 (業務執行理事兼柏中央保育園園長)
児童発達支援管理責任者	1名	1名
訪問支援員（担当者）	1名	1名
保育士または児童指導員	2名	2名

5. 開所日及び開所時間

(1) 開所日

月～金曜日（年末年始（12月29日～1月3日）、祝日を除く）

(2) 開所時間

月～金曜日 10:00～18:00



(2) 保育アドバイザー会

法人が設立され16年目となります。

これまでの間に、待機児童問題、賃金改善による保育従事者の確立、働き方改革、養育者による幼児虐待問題、保育園施設における不適切保育問題、新型コロナウイルス感染症による臨時休園、そして昨今の少子化による定員割れ問題と保育環境・従事者等、人間教育における「人、もの、事」が大きく注視されるようになり、変化と人材育成が求められる。法人の中長期計画のように保育専任として「保育アドバイザー会」を設置し激動の保育時代を見据えた「これからの保育、これからの童心会」を今以上に強固な組織を確立するために発足。

【構成メンバー】

中山梨花（業務執行理事兼柏中央保育園の園長）

高間道子（法人設立メンバーであり牛久みらい保育園元園長）、

谷 千美（法人設立メンバーであり柏さかさい保育園元園長）

中山竣宇（法人本部事務長）

【目的】

少しでも働きやすい環境、そしてこども家庭庁の設置による新しい保育に政策が移行されても童心会の保育理念を時代にマッチングし利用者の最善の利益の実現に向け努める。

【内容】

事業審議や園長会前の議案決め、法人窓口の相談業務など、基本月1回開催（園長会1週間前に開催）。園長先生方の相談対応、良い運営のためのアドバイス業務、法人マニュアルや保育計画、人材育成業務、保育スキル育成、保育関連の資料の見直しなどの推進。

【活動計画】

- ① 月1回のアドバイザー会議（事務長による理事長報告含む）
- ② R6年度新入職員 & R6年度クラスリーダーへの研修
- ③ 外部講師による「社会人基礎スキル」研修 1年目～5年目職員
- ④ 外部講師による「ミドルリーダーの意識」 5年目以上職員
- ⑤ 園内研修コーディネーターの活躍（園内研修の充実化）
- ⑥ システムづくり & 資料作り



(3) わくわくアート活動(高間道子先生/元牛久みらい保育園園長)

■ 活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて知的な好奇心を高め、学習の基本的な態度を伸ばしていけるようにする。

○ 絵画

様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。

○ かきかた

鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことへの意欲を高めるとともに、筆文字を書く楽しさを経験する。

【内容】

月2回、午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動をする。

○ 絵 画 : 観察画・想像画・デザイン画

○ かきかた : 線の練習・ひらがなの練習・迷路・点つなぎ・まちがいさがし・しりとり迷路・習字(後半1～2回程度)ほか

【留意点】

- ・ 個々の能力の差を認めつつ、できない、書けないことの不安を取り除き、絵を描いたり、文字を書くことの楽しさを感じ意欲を高めていくことを大事にする。
- ・ みんなの前で発表したり、友達の作品を認め合う気持ちを育て、安心して力を発揮したり育ち合いができるようにしていく。

【活動計画】

	絵画	かきかた
4月	おともだちの顔(コンテ画)	名前、線の練習、迷路
5月	大根の観察画(クレヨン)	ひらがな①、迷路、○△の写し描き
6月	さかなはなにいろ?(絵具とバブルアート)	ひらがな②、グリッド点つなぎ
7月	パイナップルの観察画(コンテと絵具)	ひらがな③、数字点つなぎ
8月	海の中(透明シートにポスカで描画)	ひらがな④、まちがいさがし
9月	砂絵	ひらがな⑤、数字点つなぎ



10月	カラーモンスター(絵具)	ひらがな⑥、ひらがな点つなぎ
11月	等身大の自画像	ひらがな⑦、ひらがなしりとり
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、記号置き換え
1月		書き初め、ひらがな⑨、しりとり迷路、記号置き換え
2月	スペシャルアート(担当の先生が主になって指導)	ひらがな⑩、点つなぎ、迷路等
3月	おおきくなったら(クレヨン、カラー砂、絵具、ラミネート仕上げ)～活動のまとめ～	

【今年度取り組みたい課題】

- ・昨年度、初めて個々に8色の絵の具を使う経験をおこなったが、表現が豊かになり筆の使い方も上達して、後半の大きな人物画や筆と墨を使ったかさじぞうの活動の際に成果が見られた。今年度もより絵の具の経験が充実できるように考えたい。
- ・「等身大の自画像」の掲示は、他のクラスや保護者、さらに柏中央保育園は通りに面した大きな窓に掲示していただき、地域の方にも見ていただくことができた。作品を掲示する際に腕や足の部分が破損しやすかったため、掲示方法と作品の保護方法を検討したい。
- ・かきかたプリントは、無理なく“書きたい気持ち”で取り組めるよう、さらに情報を集めて内容の充実を図るようにする。
- ・担当の先生にわくわくアートについてアンケートを取り、その声を反映させてより良い活動に改善していきたい。
また、後進の育成について考えて、担当の先生の経験を増やしていきたい。



(4) わくわくタイム活動(中山力公先生)

■ 活動対象クラス

社会福祉法人 童心会 5園の5歳児(さくら組)

■ 活動目的

- ・ 自然と触れ合い、五感を刺激する活動にしていく。
- ・ 活動のなかで仲間と新しい刺激を受けて記憶に残る活動にしていく。
- ・ 広い公園(施設環境)で活動を行い、公共施設の社会性を身につける経験をしていく。
- ・ 外環境(ひと・もの・こと)を活用し、四季の自然環境を味わいながら慣れ親しむ。
- ・ 多忙な家族に代わって積極的に自然環境と関わる機会を持つ。
- ・ 活動後の様子をInstagramで発信し、活動内容を保護者に伝えていく。

■ 活動留意点

- ・ 安全に活動を楽しむため、お話を聞く姿勢を大切にしてい
- ・ 広い公園での活動が多いため、活動する遊具などの範囲を決め、園児全体の立ち位置を把握する
- ・ 楽しい雰囲気を壊さないようにしながら周りに注意を払えるような声かけ予測される衝突などの事故を未然に防ぐ
- ・ 活動場所を利用させて頂くことに感謝し、ご挨拶や“ありがとう”の心を忘れない

■ 活動日程・時間について

以下の表のとおり、月2回の曜日固定とする。 童心会 5園の年間行事予定表を基準とするが、行事などで日程変更があった場合、行事等が優先となる。

園名	柏さかさい 保育園	柏中央保育園	牛久みらい保 育園	柏しんとみ保 育園	柏 ECEC 保 育園
曜日	第2 / 第4 月曜日	第1 / 第3 月曜日	第2 / 第4 水曜日	第2 / 第4 金曜日	第1 / 第3 金曜日

■ 活動時間帯について

園を出発する時間から帰園する時間

- ・ 出発時間 13:30～
- ・ 帰園時間 15:00～15:30



■ 活動場所について

- ・ 活動場所への移動は園バス(赤バス/虹バス)を使用する
- ・ 外活動は天候に左右されるため変更になることがある
- ・ 悪天候時は屋根のある場所での活動になる。(室内活動: Q、R、S、T、H、I)

柏 4 園(柏さかさい保育園、柏中央保育園、柏しんとみ保育園、柏 ECEC 保育園)		
A 南部公園	B 増尾城址公園	C 手賀の丘公園
D 県立柏の葉公園	E あけぼの山農業公園	F 北柏ふるさと公園
G 柏ふるさと公園	H 柏西口第一公園	I リフレッシュプラザ柏
J 柏リフレッシュ公園	K コミュニティ児童第 2 公園	L 流山市総合運動公園
M やまびこ公園	N 野々下水辺公園	O 中原ふれあい防災公園
P こども図書館(沼南)	Q 柏中央体育館の幼児体育室	R 満点の湯(足湯)
S 南部クリーンセンター	T こども図書館(沼南)	

牛久みらい保育園		
A 牛久運動公園	B 洞峰公園	C 乙戸沼公園
D 霞ヶ浦総合公園	E 牛久自然観察の森	F ひたち野水辺公園
G 竜ヶ岡公園	H JAXA 筑波宇宙センター	I 牛久中央図書館



令和 06 年度 柏さかさい保育園 事業計画

■ 保育目標

通園園児は、保護者が就労等保育を必要とする時間、育ての親である保育士とたくさんの愛情の中で、自尊感情を育て経験体験を通して「思いやり と生きる力」を育み安心して暮らしていく。その中で、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけ、笑顔・挨拶・思いやり・感謝の約束を常に心がけ、興味・関心・好奇心・意欲・意志を育て規律ある生活習慣を図る。

■ 特別保育事業

1. 延長保育 短時間保育(07:00～08:30) 標準保育(18:01～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり)
9. つどいの広場(出前保育)
10. 社会見学・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(R06.04.01)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	14	24	24	24	24	24	134

※ うち 7 名 加配必要園児

■ 職員構成(R06.04.01)

職員	園長	主任保育士	保育士	調理員	栄養士	事務員	みなし保育士	看護師	保育補助	合計
人員	1	1	28	5	1	1	5	1	1	44

※ 事務は本部業務も兼ねる

※ 障害職員 1 名(保育補助及び清掃担当)

※ みなし保育 1 名及び保育士 1 名は保育及び事務担当



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式、進級式、春まつり(懇談会)
5 月	こどもの日の集い、尿検査(4, 5 児)、遠足、筑波山登山(さくら)、引き渡し訓練
6 月	内科検診、歯科検診、さくら組お泊り保育、ひまわり組お泊り保育、個人面談 消防訓練
7 月	七夕会、プール開き、たんぽぽ組夕涼み会 夏まつり
8 月	歯磨き指導(幼児組)、プール納め
9 月	敬老の日プレゼント
10 月	親子運動会、秋まつり(鑑賞会)、ハロウィン
11 月	交通安全指導、遠足、10 月ウォーク(さくら)
12 月	クリスマス生活発表会、もちつき、内科検診
1 月	マラソン記録会
2 月	節分、さくら組マラソン交流会、冬まつり、歯科検診
3 月	入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園遠足、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・映画会

※ 誕生会:みんなでお祝い後、保育参加、食事体験会をしていただきます

■ 地域貢献

- ・ 『子育て支援』 広報活動を積極的に行い、より多くの方々への子育てに対する不安を聞き、子育てに対する手助けをする
- ・ 近隣センターにて子育て支援活動を行い、繋がりを広げていく
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的実施していく
- ・ 近隣の中学生の職場体験、高校のインターシップ、支援学校の職場体験の受け入れを積極的に行い、未来の親作りの手助けをする
- ・ 公園里親活動として公園や近隣のごみ拾いのボランティア活動を積極的に行う

■ 令和 06 年度 保育活動

- ・ 保護者を巻き込んだ活気ある行事を計画し、子どもの育ちをすべての利用者同士で共有することで繋がりを深めていく。
- ・ 地域との連携、交流活動も活発に行い特に行政、保幼小との連携を大切に、情報共有、報連相を心がけていく。



- ・ カンガルーケア、抱きしめ言葉を保育者の義務とし、安心して過ごす環境を整え、外環境や四季折々の身近なものとの関わりから五感を刺激し、見て学ぶ保育を提供していく。

幼児組は昨年に引き続き、2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導。法人職員による音楽リズム指導を通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。

また、3、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽指導を行う。

その他、さくら組の午後の時間に、法人職員による文字や絵画に触れ経験を豊かにする「わくわくアート」やバスに乗り普段の保育活動中には行けないような場所に出かけ、体を動かし遊ぶ楽しさを共有する「わくわくアイム」を取り入れ、イキイキワクワクハラハラドキドキを感じながら地域の子どもたちや公共の遊具の遊び方など遊びながら社会性を身に付け、また、人材活用によって保育士の時間を有効活用する。

■ 自然とのふれあい

柏さかさい保育園近隣の公園、畑に育つ野菜や沿道の草花、昆虫などそれぞれの季節の自然物と触れ五感をたくさん刺激し情緒を育む。

■ 保護者との協同

保護者会からファミリー会へ移行をし、幅広く保護者と協同しながら繋がりを広げ、行事や生活を通して子どもたちのより良い育ちのための村づくりをしていく。

また、「おやじの会」との連携も引き続き推進し、保育園活動(夏まつり、親子運動会の参加等)の発展に繋げていく。



令和 06 年度 柏中央保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・ 育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し、保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する
- ・ 安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る
- ・ 仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、異年齢交流も大事にする
- ・ 園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイクワクワクハラハラドキドキを感じながら経験体験ができるような保育を心掛ける
- ・ みんなのひろばでのリズムにあわせた音楽リズム遊び、運動遊び(2週に1回)、及び週1回の遠距離散歩(スペシャル・デイ)、園バス(2歳児以上)での園外活動も月2回取り入れる

■ 特別保育事業

1. 延長保育(短時間 朝 7:00～8:29・16:31～20:00 通常 18:01～20:00)
2. 一時預かり保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり・保育参加)
9. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
10. 公園里親活動(柏西口第一公園・豊四季台公園)

■ 園児数(R06.04.01)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	11	20	19	19	19	18	106



■ 職員構成(R06.04.01)

職員	園長	主任 保育士	保育士	調理 員	栄養 士	事務 員	みなし 保育士	看護師	合計
人員	1	1	24	3	1	(1)	3	1	34

※ 本部事務員が事務員兼ねる

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式・春まつり・ピクニック週間(バス遠足)/10 キロウォーク
5 月	子どもの日の集い・個人面談・尿検査・お泊り保育 (5 歳児 1 泊 2 日)・筑波山登山
6 月	個人面談・歯科・内科健診・プール開き・4 歳児お泊り保育
7 月	七夕の集い・夏まつり
8 月	3 歳児夕涼み会
9 月	引き渡し訓練・視力検査・
10 月	親子運動会、ハロウィンパーティー・遠足週間
11 月	第1回マラソン記録会
12 月	クリスマス生活発表会・クリスマスクッキング
1 月	第2回マラソン記録会・マラソン交流会(さくら)
2 月	節分・豆まきの会、バレンタインクッキング、冬まつり
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、卒園式、修了式、ありがとうの会

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会:今年度は年長児の誕生月に保護者の方を招待

※ 毎週・隔週:幼児体育(4・5 才児)・音楽リズム(4・5 才児)
ワクワクタイム・ワクワクアート(5 歳児)

■ 地域貢献

- ・ 『子育て支援』 妊娠期からの親育てを大事に、子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと考える。子どもへの関わり子育てのヒントとなるような活動を定期的に行い、不安や喜びを伝えあえるような仲間になれるよう架け橋にしていく



- ・ 『公園里親活動』 日頃から利用している公園がいつもきれいに保てるようゴミ拾い等の清掃を行う

■ 園外活動

柏中央保育園は園庭がないため悪天候でない限り園外活動を行う。毎週水曜日をスペシャルディとし、目標を持ち「イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキ」の活動を心掛ける。園外で地域の方と接するときは感謝・挨拶を忘れずに心掛ける。

■ 特別な保育

- ・ 脳刺激、リズム感を養うために音楽リズム遊び
→年長児・年中児
- ・ 専門職員からの鍵盤ハーモニカ指導
→年長児（年長児のクリスマス生活発表会に向けて課題をもって行う）
年中児 1 月～3 月
- ・ 2 週に 1 回、外部委託の専門員による幼児体育
- ・ わくわくアート
保育アドバイザー高間先生による、文字を書くこと、描画表現活動を行う。
想像力・思考力・表現力を育むための時間となり、子どもたちが積極的に取り組める素晴らしい時間
- ・ わくわくタイム
外環境や社会資源を活用し、四季の自然環境を味わうことができるアグレッシブな活動時間
- ・ 年間計画を立て食育に取り組み、全体的に行う食育と、朝の時間を利用し希望者がお手伝いする時間（玉ねぎの皮むきなど）を作り、調理師と関わる時間を作ることにより関係性が深まる

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。

新型コロナウイルス感染症も緩和されたので、改めて保護者との関わりを持つことができないが、落ち着いたら活動を再開し保護者の架け橋になるよう活動・行事を取り入れる。



令和 06 年度 牛久みらい保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、一人ひとりに愛情深く接し、保育方針にそって、より良く見つめ・抱きしめ・耳を傾けて良く聴き・たくさん話しかけながら日々子どもに向き合っていく。子どもたちが主体的に活動できるように、毎日の生活がわくわく楽しめるような保育を工夫し、活動を通してがんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけていくことを目標とする。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(6:30～7:00 18:00～20:00)
2. 一時預かり保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターンシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり・保育参観・みらいファミリー会)
9. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
10. 休日保育
11. 病後児保育(体調不良児含む)

■ 園児数(R06.04.01)※今後入園児追加予定

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	6	18	18	16	17	18	93

■ 職員構成(R06.04.01)

職員	園長	主任 保育士	保育士	調 理 員	栄 養 士	事 務 員	看 護 師	保 育 補 助	保 育 ア ド バ イ ザ ー	合 計
人 員	1	1	19	4	1	1	2	1	1	31



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式 お花見 こどもの日のつどい
5 月	バス遠足、春まつり、筑波山登山、内科健診
6 月	歯科健診、歯みがき指導、お泊り保育(5 歳児)、お泊まり保育(4 歳児)
7 月	七夕の集い、プール開き
8 月	夏まつり(地域のおまつりに参加)、プール納め
9 月	敬老の日プレゼント、親子うんどう会(0・1・2歳児)
10 月	親子うんどう会(幼児)、秋まつり
11 月	スペシャルデイ(お泊まり保育に代わる特別活動:3歳児)、バス遠足、10km ウォーク
12 月	クリスマス生活発表会、もちつき、大そうじ
1 月	内科健診、マラソン記録会、法人5園マラソン交流会
2 月	節分豆まきの会、歯科健診、冬まつり、入園説明会
3 月	ひなまつり集会、卒園遠足、さくらさんありがとうの会、卒園式、入園前保育体験会、園外保育の日

毎月行事：誕生会・非常災害訓練・身体測定・映画会(クラスごと)・交通安全教室

誕生会：誕生月に保護者の方を招待し誕生会、保育参観、食事を楽しんでもいただく

毎週・隔週：体操指導(4・5 歳児)・音楽リズムあそび(全クラス)・わくわくアートタイム(5 歳児)・わくわくタイム(5 歳児)

■ 地域貢献

- ・ R2年4月、ひたち野うしく地区に新たに中学校が開校、コロナ禍明け、保幼小の連携については対面式や小学校内での交流活動を行い、今年度は就学前に保・幼間の交流を深められるよう計画していく。今後は中学校までを含め、地域連携、交流活動、情報交換をしていく
- ・ 地域子育て支援センター“としおちゃん”では、イベントや行事をきっかけに園に気軽に来ていただけるように、また保育園の専門性を生かして相談しやすい関係づくりに努めていく。積極的に情報発信、地域のニーズに合わせた子育て支援活動を実施できるように情報の収集や外部との連携に取り組んでいく



■ 令和 06 年度 保育活動

牛久みらい保育園の環境(園内・園外)、近隣施設等社会資源を活用しながら、子どもたちの愛された育ちの保障、五感の刺激、わくわくドキドキの保育園づくりを目指していく。

- ・ 運動は、専門指導員による体操指導を月 2 回取り入れていく(4・5 歳児)
- ・ 文字を書くこと、描画表現については、高間保育アドバイザーによる、わくわくアートタイム(5 歳児)で知的好奇心を高めていく活動を取り入れ、室内活動をより豊かにしていく
- ・ 五感の刺激、子どもたちの体力づくり、社会性を育むため、積極的に外環境の活用、園外活動を実施していく(5 歳児 わくわくタイム)
- ・ 看護師による保健活動は身体健康づくりだけでなく、命の大切さやマタニティ体験等を通して心の育ちも考えていく
- ・ 食育活動は調理室と連携しながら、お米やプランター野菜の栽培や収穫、日常の生活や行事を通して食を楽しむ経験を多く取り入れていく
- ・ 音楽は日々の保育活動の中で音楽に触れ、親しみ楽しみながらリズム遊び、ピアノの指導(5 歳児)を系統立てて行っていく

■ 病後児保育

- ・ 市内幼保施設、小学校、児童クラブへのパンフレット配布など積極的に広報活動をすすめていくとともに、利用実績を踏まえ、牛久市、医師会と連携して、より利用しやすい事業を目指す。

■ 他機関との協同

- ・ 支援を必要とする子については、発達支援センターや教育委員会による巡回相談の活用、また5歳児については就学に向けて教育センターとの情報共有、連携を図っていく。

■ 保護者との協同

- ・ R6 年度より新しい“牛久みらい保育園ファミリー会”が始動する。園行事へのご協力をいただきながら、保護者同士のつながりを深め、子どもたちのより良い育ちの為に、大人たちみんなで子どもたちみんなを見守る“村づくり”を進めていく。

■ スクール活動について

- ・ R05 年度から準備を進めてき 4. 5 歳児対象のスクール活動を R06 年度より実施する。他機関との連携、職員の業務改善、保護者のニーズ、園の特色として確立を目指す。



令和 06 年度 柏しんとみ保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、保育方針にそって、愛情深く、より見つめ・抱きしめ・耳を傾けて聴き・たくさん話しかけながら、日々子ども達一人ひとりに向き合っていくこと。その為に、『がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)』を身につけ、「笑顔 挨拶 思いやり 感謝」の心を育てながら、「興味・感心・好奇心・意欲・意志」を感じられる環境づくりと心の成長を意識目標とする。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障害者や小学生、中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動(公園里親登録)

■ 園児数(R6.04.01)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	4	19	19	17	19	19	97

■ 職員構成(R6.04.01)

職 員	園 長	主任 保育士	保 育 士	調 理 員	栄養士	事 務 員	みなし 保育士	看護師	SV	合計
人 員	1	1	21	3	1	(1)	4	1	2	34

※ 本部事務員が事務員兼ねる

※ SV はスーパーバイザー(1 名) & 児童発達支援管理者(1 名)

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式・進級式・春まつり(懇談会)・こどもの日の集い



5 月	尿検査(4、5 歳児)・バス遠足・10 キロウォーク(5 歳児)・歯磨き指導
6 月	個人面談・歯科検診・内科検診・お泊り保育(5 歳児・4 歳児)・消防訓練・プール開き
7 月	七夕の集い・夕涼み会(3 歳児)・夏まつり
8 月	プール納め・引き渡し訓練
9 月	視力検査(5 歳児)
10 月	親子うんどう会・バス遠足・秋まつり(ハロウィン)
11 月	視力検査4 歳児・プレマラソン
12 月	クリスマス生活発表会・クリスマス会・年長児学校訪問・おもちゃつき・大掃除
1 月	マラソン記録会・内科検診・視力検査 3 歳児・お店屋さんごっこ
2 月	節分・冬まつり・卒園遠足・お兄さんお姉さんありがとうの会
3 月	ひなまつりの集い・入園説明会・卒園式・ならし保育

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・ボランティア活動・食育活動
乳児、幼児映画会・安全点検・家族の生活目標表彰式

※ 誕生会:保護者の方をご招待し保育参観をしていただく

■ 地域貢献

- ・ 子育て支援活動は無認可だが、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所をめざし、園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見やお互いの学びの場となるように行う
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保こ小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 街体験学習を取り組む近隣小学校についても積極的に受け入れをする
- ・ 保育士実習、看護師実習生の受け入れについても、職員自身の振り返りや伝える事で意識の変化をも学び合える機会となる
また、童心会の保育の本質を伝える良い機会となりそして良き未来の保育士仲間となりうる人材の受け入れとして積極的に実施していく
- ・ ボランティア活動として近くの公園の里親となり普段から清掃やゴミ拾いを行っている

■ 令和6年度 保育活動

- ・ 童心会他4園とのマラソン交流会



- ・ カンガルーケア、抱きしめ言葉が日常の基本である事を常に忘れず、安心して過ごす環境を整え、外環境や身近なものとの関わりから、五感を刺激し見て学ぶ、体験して学ぶ保育を提供していく
- ・ 幼児体育： 2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導が行われる。
- ・ 音楽リズムセラピー：音楽リズムセラピーを通して、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などといった要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする。
3, 4, 5歳児対象に楽器に触れ音楽への楽しみや集中力を養う
- ・ わくわくアートタイム：法人職員による「絵」や「文字」を通して表現力や想像力・思考力を伸ばしている。
- ・ わくわくタイム：五感の刺激・体力づくりを目的とした園外活動（バスを利用して広い公園、公共の利用）

■ 自然とのふれあい

柏しんとみ保育園、近隣の公園（流山市、柏市）など多くの公園を使用する。その際危険個所の確認、歩くマナーを知り伝え、一緒に考えながら命の大切さを知る事を意識している。体験と探検を通して近隣の方々との挨拶を交わす事も大切にし、変わりゆく季節、五感を通して感じ合えるように安全に歩き楽しみ感をもって、園外保育活動を取り入れていく。

■ 保護者との協同

保護者との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。 保育園活動の発展に繋げていく。



令和 06 年度 柏 ECEC 保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・ 育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する
- ・ 安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(体の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(心の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る
- ・ 仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、日常生活に戻る中でここ数年制限されていた異年齢交流も積極的に行っていき、様々な環境においての仲間との関りを大切にしていく。
- ・ 園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキを感じながら経験・体験ができるような保育を心掛ける。

■ 特別保育事業

1. 延長保育
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障がい児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障がい者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(R06.04.01)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	9	14	16	18	16	18	91

■ 職員構成(R06.04.01)

職 員	園長	主任 保育士	保育士	調理員	栄養 士	事務 員	みなし 保育士	看護師	合 計
人 員	1	1	15	2	1	(1)	0	1	22

※ 本部事務員が事務員兼ねる



■年間行事予定

月	行 事
4 月	入園・進級式・お花見・10キロウォーク(5 歳児)
5 月	こどもの日の集い・春まつり(懇談会)・お泊まり筑波山登山(5歳児)・バス遠足・尿検査
6 月	歯科検診・内科健診・お泊まり保育(4歳児)
7 月	プール開き・七夕の集い・夏まつり・夕涼み会(3歳児)・個人面談(3歳児)
8 月	個人面談(4・5歳児)・消防署見学(4・5歳児)・プール納め
9 月	引き渡し訓練・おじいちゃんおばあちゃんふれ愛プレゼント・親子運動会
10 月	秋の遠足・秋まつりハロウィンパーティー・個人面談(2歳児)
11 月	マラソン記録会・個人面談(0・1 歳児)
12 月	クリスマス生活発表会・ハッピークッキング・もちつき
1 月	年長児学校訪問・内科検診・冬まつり(懇談会)・マラソン交流会(5歳児)
2 月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング
3 月	ひなまつりの集い・入園説明会・卒園遠足・ありがとうの会・卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定

※ 保護者参加の行事は、基本的にコロナ禍前に戻り通常運営を行う。

■ 地域貢献

- ・ 外環境・自然環境・四季環境を通した保育を通して、地域の方とも挨拶や会話を交わし、地域を活性化できる保育園を目指す。
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 園見学を通して、子育てをする方の話を聞いたり、相談に乗り群れで育ちあうことの大切さを伝えていき、頑張っている保護者様に寄り添える存在であることを発信していく。また、入園前の一時保育にも繋げていく。

■ 令和 06 年度 保育活動

・音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイム・幼児体育

専任講師により、五感を刺激した指導を行って頂き、共同養育者として担任以外の視点から見た子どもたちの育ちを共有し、園児の対応や活動内容は各クラスの保育でも指導頂いたことを取り入れ活動の幅を広げていく。



・園外保育活動

開園7年目を迎えるにあたり、園児の運動能力も向上して来ており積極的に外環境・四季環境・地域環境を活用した保育を行ってきた結果として、各クラスとも徒歩で遊びに行ける公園が増えてきているので、より外環境を活用した活動の充実を図る。

■自然とのふれあい

- ・公園や緑地での活動を通して、草花や木の実など自然物を見つけたり、それを用いた活動も取り入れていく。

■保護者との協同

保護者会の組織団体からサポート団体としてのファミリー会へ移行するが、改めてそれぞれの協力体制を再構築する。

「生みの親・育ての親」を改めて意識をし、協同できる関係性を築きながら園運営や園児の育ちに関して引き続き連携を図る。